

RENAULT MEGANE R.S.

#04 | 2015年式 | 走行距離=1520km



担当=緑整備センター

GT-Rを始めフェアレディZなど日産系チューナーとして名を馳せる緑整備センター。メガースR.S.の実力を認め、チューニングを開始。



ダイナパック計測
迫力あって
怖いです

パワー測定に使用するダイナパック。正確なデータが取れるので非常に便利に助かるのですが、狭いスペースでエンジンをブン回すので、迫力があって怖いです。ローラー式なら気絶しそう。



Tipo PADDOCK PASS

さすが国産チューニングメーカー、やるのが早い!

チタンマフラー、プロト完成!

ハンパナイクオリティ!

文：三宅康朗 撮影：宮越孝政 取材協力：緑整備センター TEL：045-933-1101 URL：http://midoriseibi.co.jp/

今回は、タイムアタックを前にして色々試したいことが出てきたので、まずはマフラーを制作することに。ミドリ整備はJASMA(日本自動車スポーツマフラー協会の会員企業なので、自社のマフラーを制作できる。

このオリジナル・マフラーはチタン製で「ミドリサイレント!ハイパー」というネーミング。特徴としては、通常は音量を調整するためにマフラーの内部の一部を絞ることで吸音効果を高めているようなのだが、ミドリ整備では逆に一部を膨張させることで吸音効果を高めているのだそうだ。そのため内部抵抗を極限まで低めることができるのだとい



う。メガースR.S.の場合、ブースト圧はノーマルで1.3ぐらいなのだが、このマフラーなら1.5ぐらいまで対応するそうだ。素材はチタンを使っているのが超軽量。取付、取外しに関しては分割ができるので、作業効率もいい。振動に対しては、触媒の後のパイプを蛇腹にし、吸収できるようにしているとのことだ。現段階ではプロトタイプであるが、このまま製品化する予定だそうだ。

早速ダイナパックで測ってみたら、パワーは6PSアップ。次は吸気側マッピングの書き換えで更なるパワーアップを狙う。ちなみにトロフィもダイナパックで計測したら、驚きの結果に!



①美しい仕上がりが、チタンらしい色味。たまらんですね。②美しい曲げとキレイなタイコ部分。類ずりしたくなります、ヤケドするけど。曲がり具合はノーマルに比べ緩やかにして、内部抵抗を低くしているそうです。③マフラスターもちゃんと作り直しています。コラへの丁寧さは、国産チューナーが最も得意とするところ。④振動を吸収するための蛇腹構造。作りも流石です。



音量もしっかりと測っておかなければなりません。実際の音量はアイドリング時62db、4000rpm時74dbと、音質でははっきり違うのに音量は同じ。さすが!



今回は緑号(黄色、ややこしい!)の他に、サンプルとしてトロフィを持ち込んでパワーチェックしました。ちなみに叩きだした数値は292PS! さすがですね!



赤がトロフィ、緑の破線がノーマル、実線が緑号です。パワー/トルクとも、トロフィが少し上回っています。緑号はマフラーで6PSアップ。



ブースト圧を見ると、トロフィが4800-4900rpmあたりでグンッと盛り上がっているのがわかります。ノーマルとはマップの違いがあるようです。